

主催：イズミテクノ・シンコースポーツ共同企業体  
後援：廿日市市

# 佐伯 SAIKI YUME-KAGURA ゆめ 神楽

令和6年 5月5日(日)  
開演11:00 (開場9:30) (15時ごろ閉演)

佐伯総合スポーツ公園 アリーナ  
広島県廿日市市津田545番地

入場無料

〔演目〕

- ◆ 浅原神楽団……塵輪
- ◆ 津田神楽団……恵比寿
- ◆ 河津原神楽団……天神
- ◆ 玖島神楽団……土蜘蛛

参加神楽団

浅原神楽団

津田神楽団

教室子供ダンス発表

河津原神楽団

玖島神楽団





## 出演団体と演目の説明

### 浅原神楽団 /あさはらかぐらだん

浅原神楽団が結成されたのは、明治六年ごろと言われています。

当時、浅原亀山神社に奉納されていた、『神興(みこし)』の色彩修理のため、旧宮内明石(現在、廿日市市宮内明石)の住人が業(ぎょう)のかたわら、浅原の青年達に『明石の神楽』として伝承され、以後代々受け継がれていました。

昭和47年頃、継続者が無く、一世代超え「浅原子供神楽団」として継続しました。子供達も大きくなり、昭和59年に「浅原神楽団」とし、当時の十二神祇神楽に加え、六調子系、八調子系の神楽を取り入れ活動しています。

塵輪  
じんりん

第14代天皇・帯中津日子(たらしなかつひこ)が、異国より日本に攻め来る数万騎の軍勢を迎え撃ちます。その中に塵輪という、身に翼があり、黒雲に乗って飛びまわり人々を害する悪鬼がいると聞き、天の鹿兎弓(あまかごゆみ)、天の羽々矢(あまはばや)を持って高麻呂を従え討伐に向かい、激戦の末に退治します。

### 津田神楽 /つだかぐら

津田神楽については、文化三年に書かれた神楽舞「天大將軍」の云いたてが神社に保存されており、又、天保七年十月九日夜、花上黄幡神社の神楽執行、慶応三年八月十四日夜、八幡宮で「氏子中、夜通し神楽舞う」等と記述された文書が残されていることから、その頃にはすでに舞われていたもので、明治の末頃までは毎年八月末から十一月吉日まで舞われていたものの、その後衰退、復興を繰り返し、昭和五十二年以降、毎年十月第二日曜日の大祭の前夜に、津田八幡神社、拝殿で舞い続けられ、現在に至っています。系統としては、安芸十二神祇に属するものとされています。

恵比寿  
えびす

この舞は恵比寿さまの人徳を讃える舞であり、所作の中には多分にこっけいなしぐさが入っています。恵比寿さまは大黒さまとともに民間信仰の対象とし福の神の第一にあげられるほどの崇敬を得ていますが、これはひとつに古事記の国住みの蛭子神話に基づくとする説があります。

### 河津原神楽団 /かわつはらかぐらだん

河津原の神楽(かぐら)舞(まい)は明治10年ころから舞われ、140年あまりの伝承の歴史をもっています。

元来は「十二(じゅうに)神祇(じんぎ)」と呼ばれる神祇舞で、河(かわ)津原(つはら)八幡(はちまん)神社(じんじや)への奉納(ほうのう)神楽(かぐら)であり、幣(へい)や幡(はた)、扇(おうぎ)などによる払い清めを基調に置き、舞の美を見せるものでした。

近年では、「十二神祇」を伝統と歴史ある舞として、保存・継承するとともに、「高田系八(たかだけいはつ)調子(ちょうし)」や、「石見八(いわみはつ)調子(ちょうし)」を取り入れながら、見て頂くお客様はもちろんのこと、舞手も楽しめる。河津原神楽団独自の新しい舞の創造・研究にも力を入れております。

天神  
てんじん

宇多天皇に仕えた後、醍醐天皇の時に右大臣に任命された菅原道真は左大臣藤原時平の詭言によって筑紫へ左遷されたが、そのままでは、国の安穩はおぼつかないとして、天拝山に登って祈雷に命じて時平を懲らしめようとする。一方、時平は詭言によって道真を左遷する事に成功したものの、思い通りの官位が得られず、朝廷を恨み、悪心を起こしたため鬼となった。菅原道真は随臣と共に時平を倒しました。

菅原道真は天神と呼ばれる神として、太宰府天満宮や北野天満宮など「~天満宮」と呼ばれる神社に御まつりされています。

### 玖島神楽団 /くじまかぐらだん

昭和53年に有志数名により発足し、今年で46年目を迎えます。社会人の若い団員を合わせ、15名で活動しています。

年間を通し県内各地の秋祭り、イベント等に出演し、勇壮で変化に富んだ八調子の新舞・旧舞を舞っております。

郷土芸能の伝承、地域文化の更なる発展を目的に、団員一同、地域の方々の支援を受け、また、地域に貢献できるよう頑張っていきますので、皆様応援のほど、よろしくお願い申し上げます。

土蜘蛛  
つちぐも

大和の国は、葛城山に年古くより住み着き、天下を狙っている土蜘蛛の精魂は、源頼光の侍女胡蝶に姿を変え、典薬の守からの使いと偽り、病気の頼光に飲ませる薬に毒を盛って差し出しますが、頼光に正体を見破られ伝家の宝刀「膝丸」で手傷を負い、住み慣れた葛城の山へ逃げ帰ります。

頼光は、宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸」と改め、四天王に授け土蜘蛛討伐を命じます。四天王の渡辺綱、坂田金時の両名は、土蜘蛛の妖術と応戦し見事これを退治するという物語です。